

# 野洲市民病院から始まるまちづくり

## 業務への理解

### 1 「駅前新病院」の意義を十分に理解して業務を進めます

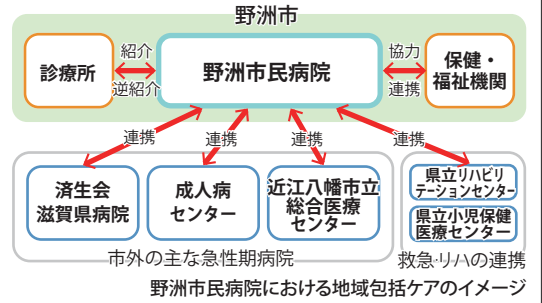
• 私たちの使命は「病院整備基本計画」「基本計画(精査結果報告書)」「駅南口周辺整備構想」、**3つの報告書の理念**を推進し、もし矛盾点があればより良い解決を提案することです。今まで長く、慎重なプロセスを経て決定した計画地における病院の基本方針を、私たちは設計を通して**地域の皆様に更に信頼される病院**として成功へ導きます。

### 2 「南口周辺整備構想」の先導モデルとなります

• 今後整備されて行く、市民広場、交流/商業施設、文化・スポーツ施設、交流施設などの**機能の先導的役割**を果たします。

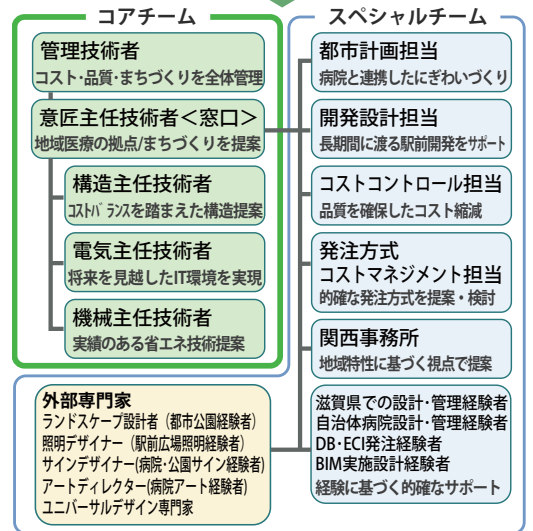
### 3 地域包括ケアシステムの拠点病院とします

• 急性期病院、医師会、保健・福祉機関などと連携し、新病院が野洲市地域包括ケアシステムの重点政策である「**地域で暮らしを支え合うまちづくり**」を推進する役割を担う機能を提案します。



## 野洲市・病院・コンサル

まちづくり・病院づくりに向けて綿密な打合せ



## 業務への取組体制

### 1 病院設計のコアチームと技術面でサポートするスペシャルチームを編成します

• コアチームは地域中核病院の豊富な実績を持つ担当者を選出し、**スペシャルチーム**にはそれをサポートする「都市計画担当」「開発設計担当」「コストコントロール担当」「発注方式とコストマネジメント担当」を選出します。

### 2 全社を挙げた支援体制

• 技術管理室を中心に、設計品質の確保、コストコントロール、工程管理を、**第三者的視点**による**ダブルチェック体制**で実施します。

### 3 まちづくりのために外部専門家と協働します

• 都市デザインの視点を踏まえ、景観・緑地・サイン・街灯等、開発地区全体のまちづくりに寄与する**外部協働体制**を取ります。

## 設計チームの特徴

### 1 当プロジェクトに類似する「ヘルスケアシティ」構想で社会貢献をしたチーム

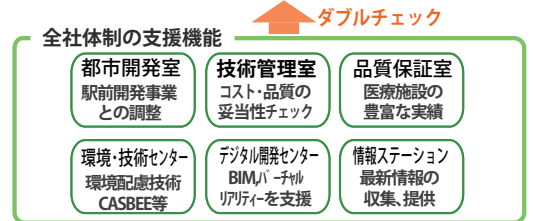
• **管理者技術者**：「ヘルスケアシティ構想」のシンポジウム等を開催した実績を活かして、プロジェクトを纏めます。  
• **建築主任技術者**：現在着工中の、九州新幹線駅の玄関口となる病院を設計した実績を活かします。

### 2 専門分野における支援

• 都市計画、開発、積算、発注方式検討の**専任をチームに配置**します。

### 3 プロジェクト全体を最後まで一貫したチームが対応

• 今後の発注方式に関わらず、設計・監理からアフターケアまで**同一メンバーとチームが対応**します。



## 特に重視する設計上の配慮事項

### 1 多様な発注方式に対応できる基本設計手法

• 設計内容を、①仕様書、②基本設計図書、③要求水準書の区分で整理・作成する事で、**全体的な品質を確保**しながら、多様な発注方法(DB, ECI, 二段階発注等)の**VE提案に柔軟に対応**します。  
• 基本設計のポイントは、病院として重要度の高い「**仕様書**」は**堅持**する一方、施工者が提案しやすいよう「**要求水準書**」の**自由度を高める**事です。

### 2 コスト管理とライフサイクルの視点

• 経営支援として、設計時から維持管理、修繕、改修、解体までの「**ライフサイクルコスト概算シート**」を作成し、**病院の運営改善**に貢献します。

### 3 将来変化への対応

• 医療環境や医療法、介護保険法等の変化に対して、あらかじめ、設計で**継続性・持続性のある、改修、更新しやすい計画**をたてます。

### 4 敷地及び環境の特殊条件への対応

• 野洲川**氾濫**に対応できる**床レベル**を早期に設計で決定していきます。合わせて、**脱着式止水板の設置**を検討します。  
• 大震災時も医療継続機能(MCP)可能な**3日分の備蓄**を確保します。

### 5 まちに波及する「野洲スタイル」

• 「新病院」から始まる「健康」づくりやにぎわいが、緑・水の連携、中山道、おいでやす通りへと**まちの発展**に波及する、「**野洲スタイル**」となります。

	区分	重要度	柔軟性	主な決定内容
基本設計時に作成する資料	1 仕様書	高	無	基本方針・医療機能 全体規模 法的条件 施設基準
	2 基本設計図書	低	低 VE 提案	平面計画・外観 BCP対応・仕様 耐久性 設備システム
	3 要求水準書	低	高	工事工法 仮設計画 構造計画

3つの区分と主な決定内容

